

◎健康福祉部長兼福祉事務所長（村井志朗君）

電子母子手帳アプリの導入についてお答えをいたします。

電子母子手帳アプリは誰でも無料で利用できるスマートフォン向けソフトで、紙ベースの母子健康手帳と比べ、妊婦健診の結果や子供の成長記録をより詳細に短時間で登録することが可能で、また、自動でグラフ化できるなど便利な機能があり、さらに記録の共有が可能なため、家族の子育て参加を促すことができます。

また、予防接種や乳幼児健診などの必要な情報を対象者の月齢に応じてタイムリーに配信できるため、受け忘れを防止し、保護者の負担軽減を図ることができます。

アプリを利用することで、妊娠、育児に関する知識の普及やベトナム語、タガログ語等の多言語化対応、離乳食教室の申込みの利便性の向上など、妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援につながります。

一方で、市の統一的なアプリを導入するには管理運営経費が必要となることや、既存の子育て支援アプリを利用している方は、データの引き継ぎが難しいという問題もあります。また、スマートフォンがウイルスに感染するなど、情報の流出が懸念される場所でもあります。

アプリ導入につきましては、今後も既存の様々なアプリを研究し、利用者の状況や他自治体の導入状況なども踏まえまして、検討していきたいというふうに考えております。